

NAGAWA ILLUMI

メディア表現領域 3年 70番 内藤香帆

•扱った民話

プロジェクションマッピング / 1…四泊の池 2…蓼科山と甲賀三郎 3…大水と芝宮の宮守
灯籠 / 狐の提灯行列or狐火or火の玉

•コンセプト

多くの水源があり、山々に囲まれた長和町は、夜になるとあたり一面が真っ暗になります。都心部はいつも明るくて、逆に真っ暗闇を探す方が難しいですが、長和町には真っ暗闇があります。そこでその暗闇を生かして、町を明るく照らしたい、その考えをもとに制作しました。

•作品意図

長和町の豊富な水源や自然とデジタルアートという、まるでこの授業をやるまでお互いを知らなかった女子美生と長和町のような、普段は組み合わさることのないもの同士がコラボレーションすることによって、今までとはまた違った一面を見せてくれるのではないかと思います。今回、滝にプロジェクションマッピングをすることに決めました。また、今回は新型コロナウイルスの感染防止のため長和町に下見に行くことは叶わなかったのですが、夜は真っ暗で、写真を撮影してもなものも映らない、と聞きました。なら、その暗闇をどうにか活かさないかな、と思いついたのが、今回の作品の始まりでした。

また、プロジェクションマッピングの他に灯籠を制作し、滝までの道のりを照らしたいな、と考えています。これもまた時事的な話題になりますが、今回のウイルス騒動で、人と触れ合う機会が極端に減りました。友人とも会いたくても会えない日々が続いています。そこで、みんなで協力し、1つの作品にするのはどうかと考え、この灯籠を思いつきました。離れていても何か繋がりが感じられるような要素をくわえられないか、と思いついたのが、灯籠です。今回はプレということで、私から同じプロジェクトの参加者、友人に頼み、灯籠の和紙の部分のデザインをしてもらいました。そしてデザインしてもらった和紙を私のところに郵送していただき、私が木の枠を制作し、灯籠の形に組み上げる、ということをしました。もしも現地でこのイベントが開催されるならば、現地の方々にもぜひ灯籠を作っていたいただき、どんどん増やして道を照らしたいな、と思います。

↓四泊の池



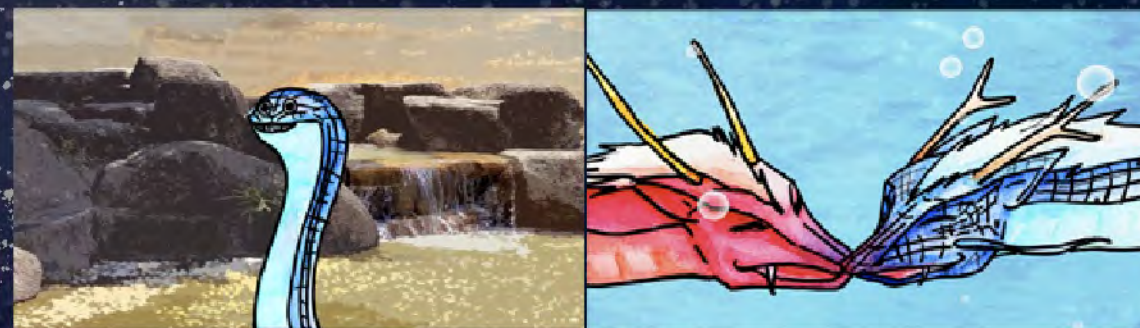
蓼科山と甲賀三郎 ↑

プロジェクションマッピング

・作品について

長和町の豊かな水源と夜を組み合わせた作品は作れないだろうかと考え、夜、滝へプロジェクションマッピングをしようと思いこの作品ができました。水に関連した話で作りたいな、と思い、四泊の池、蓼科山と甲賀三郎、大水と芝宮の宮守をモチーフにしました。他にも水をモチーフにした作品はあったのですが、プロジェクションマッピングをするにあたり、迫力のある映像を作りたかったのと、蛇という共通点があったので、この3つの作品を選ばせていただきました。プロジェクションマッピングならではの映像技法は難しく、やりがいがありました。

音楽も制作しました。映像で無音の部分があるのですが、そこは本物の滝の音と組み合わせたかったのでわざと無音にしています。



動画のデータの切り抜きです。滝でも見えるように、色を濃くして、コントラストをあげて、線を太くしてあります。

・物語の切り抜き



・投影試験(障子)



滝に投影ができなかったので、家の障子に投影してみました。壁よりも和の雰囲気漂い、かつ、滝のようにはっきりとは映らないものを探して、障子に投影しました。部屋を真っ暗にすれば綺麗に見えました。

灯籠

・作品について

この作品は、灯籠という事もあり、火をイメージした民話である狐の提灯行列、狐火、火の玉のいずれかを選択し、モチーフにして制作してもらいました。温かみのある色にしたかったので、灯籠の中のLEDライトはオレンジがかった白熱電球のような色のものにしました。今回は試作ということもあり、多くの数が必要だったので、クラスの人と友人、親にも協力してもらい、ここまでの数を集めることができました。みなさんが制作してくれたものを私が灯籠の形にしたのですが、実際にみんなに会えなくても、とても繋がりを感じました。もし長和町でやることになったら、町の方々にも作ってもらいたいと思います。なるべく簡単な形にして、誰でも作れるようなものにしました。様々な人に作ってもらったおかげで、色々な種類の灯籠に出会うことができたので、やはり、私1人が作るよりは協力していただいていたよかったです。また、より現実でできたときのイメージができました。



①

①…実験として実際に遊歩道に置き、人が歩いたらどうなるか想定して撮影した写真です。本番では滝の入り口から滝までの間にこのように転々と灯籠の明かりが灯るように配置したいと思います。

②…①の写真の拡大図です。二列に並べて、なるべく道を明るく照らしたいと思います。町の方に送っていただいた動画を見たときに歩きにくい場所も見受けられたので、そこは特に明かりを多く設置したいと思います。

③…私が制作した灯籠です。狐の提灯行列をモチーフにし、制作しました。灯籠は和紙でできているので、その風合いを生かすために、一種類の和紙だけで制作しました。私の灯籠は四面制作してあります。木の枠をなるべく捕捉したことにより、枠の絵に対する干渉を減らすことができました。和紙を重ねることにより、影ができ、独特な持ち味が出たような気がします。



②



③